

米国DSA
に加盟

アジェル

アジェル・エンタープライズ(本社・米国ユタ州、グレンシェンセンター)は昨年十月、一年間の審査期間を経て米国訪問販売協会(略称・DSA)に入会した。DSAには、昨年一年間で同社を含め十一社が加盟。同十一月、日本アム

セミナーで製品
の優位性を説明

アジェル

アジェル・エンタープライズ・ジャパンは、独自加工した商品の提供で、新スタイルのMLMビジネスを提案している。一月三十日、フィリップ・ウォルステッド北アジア地域担当副社長の日本来日に併せて行われた「アジェルビジネスセミ

ナール」では、その優位性を説明し、会員など約百人が参加した。今秋に予定するグランドオープンに向け、セミナー増加で認知向上を図っていく。

部内で行われたセミナーは、フィリップ氏と会員の初対面の場となった。同氏は、国内展開する株式会社MLMと比較して、①製品の携帯性、②回復方法―の面からアジェル製品が優れ

たことを紹介した。また、国内展開にあたり、日本独自のポータルサイトを構築し、その優位性を説明、意欲的な姿勢を示した。

同社は提供する健康食品の特徴は、機能性成分をゼリー状に加工する独自技術「サスペンションジェルテクノロジー」を用いていること。吸収性に優れるほか、カプセルや錠剤、小瓶タイプの健康食品と比較して、「水も必要なく、ポケットに収まるサイズ」と携帯性が優れていることも紹介した。また、国内展開にあたり、日本独自のポータルサイトを構築し、その優位性を説明、意欲的な姿勢を示した。

現在、週二回の東京セミナーを併せ、全国で月間約十五回の会社主催セミナーを開催している。今後は、会員の認定トレーナー制度を導入し、会員主催セミナーの拡大を目指していく。同社では今夏にも厚労省の製薬認可取得、フルフィラメントを稼働し、製品の国内発送を開始する。国内体制を整備した上、今秋の正式開業を目指す。

ひとと

アジェル

フィリップ・ウォルステッド

北アジア地域担当副社長

ニースキンエンタープライズに九年、ニース

はニースキンJ福岡支店長として同地域の市場開拓に尽力。その後大阪支店長を兼務し、〇四年にはビッグフラネット事業の国内責任者に就任している。退社する〇七年

の想い入れもまた深いという。そんな同氏が、参入間もないアジェル・エンタープライズに参入したのか。そこには、大企業との連携の二つとして働

同と共に、日本の文化に合わせた企業文化を二から創造していくことができる」という可能性を見出し、このシレンマを解消するために最速の環境を与えてくれたという。

会員と共に1からの
企業文化創造めざす

キンジャパンに五年間在籍。国内市場における経験を活かし、アジェルの日本上陸をサポートする。

店長として同地域の市場開拓に尽力。その後大阪支店長を兼務し、〇四年にはビッグフラネット事業の国内責任者に就任している。退社する〇七年

くのではなく、自分らしくありたい」という思いがあったという。会員組織の拡大に喜びを感じ、一方で、目の能力全てを活かすことができな

た。自身も現在は五人の子供を持つ。一ヶ月に一週間来日する際には、会員との関係づくりには、一人でも多くの会社の成功を支援していきたい」と意気込みを語っている。



アジェル・エンタープライズ・ジャパン(本社・東京都港区、山本悠弥社長)が日本市場参入を本格的にスタートさせた昨年八月、日本担当副社長(現・北アジア地域担当副社長)にフィリップ・ウォルステッド氏が就任した。同氏はこれまで、

同氏が国内市場に関わりを持ったのは九三年。ニースキンの日本上陸時に米国個スタッフと

きた。それだけに同社への仕事は、「参加する会

員と共に、日本の文化に合わせた企業文化を二から創造していくことができる」という可能性を見出し、このシレンマを解消するために最速の環境を与えてくれたという。

同と共に、日本の文化に合わせた企業文化を二から創造していくことができる」という可能性を見出し、このシレンマを解消するために最速の環境を与えてくれたという。